

2023 年 4 月 16 日（日）環境日本一仙台を目指す

市民フォーラムⅢワークショップにて出された参加者の意見
テーマ「レッツ再エネ 目標は 1Kw/人で 110 万 Kw」

テーマⅠ 仙台市に期待する省エネ・地球温暖化対策

- ・ 2030 年度に向けた市民に喜ばれる施策。快適性、健康増進、地域経済活性化につながるもの。
- ・ L C C O₂ への理解と補助：具体的には薪ストーブ、ペレットストーブ、太陽熱利用の選択肢を広げてほしい。
- ・ 将来的には太陽熱だけでなく、再生エネルギーの充実を図る仙台市になってほしい。ドイツは 2030 年までに 80%にする目標を掲げています。
- ・ 仙台市が参加する地域電力を立ち上げてほしい。生ごみの焼却と堆肥化する場合のエネルギー消費量の違いを数値化して明示してほしい。
- ・ いろいろ使える補助金があると思うが、もっと宣伝してほしい。
- ・ 事業関係 65%、家庭 35%：量に応じた柱を各々に向けて声を大に出して
- ・ 低所得者のゼロカーボンへの取組援助を考えてほしい。
- ・ 利用しやすいアピールをわかりやすく発信してほしい。
- ・ 山形県のようにペレットストーブや薪ストーブの支援を
- ・ 自然を破壊する開発事業の進出を認めないでほしい。
- ・ 簡単にごみ焼却に回さず、生ごみは水を切る、冬は着物を多く羽織る。これらの市民ができることを市は布教して。
- ・ “共同購入プラン” をもう少し分かりやすくして導入ハードルを下げてほしい。
- ・ 新築する家への太陽熱利用について、もっと補助金を増やす、あるいは義務化。GXにも反対してほしい。原発反対。
- ・ 太陽熱温水器、薪・ペレットストーブ補助金のお願い。子供に対し、学校などお金をかけてほしい。
- ・ F I T 電力買い上げ料金を上げるように国に要求してほしい。新築住宅にソーラー義務化を。ビルや自宅の屋上にソーラーをたくさんつけるような政策を。
- ・ 女川原発再稼働反対・廃炉の働きかけを。国の 46%に合わせるのではなくゼロカーボンを目指す政策を。
- ・ 分かりやすく市民に訴える。市民への直接支援を強化する。
- ・ ビルディングにソーラーパネルを付ける。
- ・ 「仙台まらいこ」の成功にならってキャンペーン。市民への利益還元を考える。

- ・コンパクトシティのモデル
- ・自転車道を優先的に整備してください。
- ・気候変動の授業化
- ・高齢化対策でゴミ収集は個別収集にしてほしい。
- ・義務教育でもっと環境について学習するようにしてほしい。薪ストーブやペレットストーブに補助金を出してほしい。P Vの補助金は単純に個別対応でKw 当たり2~3 万円位出してほしい。
- ・市長にリーダーシップを発揮してほしい。浮体式P Vの社会実験（溜池やダム湖）を進めてほしい。生ゴミをメタン発酵処理してエネルギー源にしてほしい。
- ・エネルギーの地産地消の考え方を仙台市には貫いてほしい。
- ・フードロス対策の義務化
- ・生ゴミが大きな課題なので対策をしっかりしてほしい。
- ・労働時間の削減＝CO2 の削減の視点を持つこと
- ・気候市民会議は全て YouTube でアップしてほしい。
- ・東北大学との連携で最先端の再エネや未利用エネルギーについて研究してもらいたい。
- ・自転車駐輪場の無料化

テーマⅡ 私の「省エネ・地球温暖化対策」

- ・車での移動が多いのでエコドライブを心掛ける。
早く電気自動車をもっと安くなるよう、自分でも買えるよう頑張ります。
- ・冷蔵庫を買い替え1月に100Kwh（？）くらい節約できた。お風呂の湯沸かし自動はすぐ切る。車の急発進はせず、60~70 km/h で走る。
- ・生ゴミネットに所属しているが、具体的に自分が行っている対策はなく、今から課題を考え勉強していきます。会社も同様に省エネを少しでも取り入れるよう勉強したいです。
- ・水を日光の当たるところに置いてお湯をつくる。
- ・ペレットストーブ
- ・OMソーラー風に屋根の熱を床下にダクトで送る。
薪ストーブで光熱費削減。
- ・生ゴミ全てコンポストなどで処理している。ゴミ出しはなるべくギューギューに。自分の家にも風力発電を設置しようかな。EV、家電、ソーラーの製造から廃棄まで全て、気候変動に資するかなど正確に知りたい。すべてリサイクルできるように。
- ・太陽光＋蓄電池で自家消費
- ・なべ布団利用、節電アクション（あいコープ企画）

- ・ 温水器、パネル、雨水タンク、ごみ減量、ペレットストーブ
- ・ L E D ランプに替える。
- ・ ？？に対応した生活をする。石油ストーブの利用、扇風機
- ・ 電気はなるべく使わない。エアコンは使わない。
- ・ 生ごみはごみに出さない。
- ・ 脱原発運動に参加する。生ごみを畑の肥料に
- ・ 自転車優先でマイカーを使うことを減らす。
- ・ 気候変動に取り組むオーガナイザーを増やす。
- ・ 近場の移動は人力で。再エネで充電したE Vでドライブする。
早寝早起き。多くの人に現実を伝えて行動する人を増やす。
- ・ 再エネ 100 宣言する。
- ・ 自分の CO2 排出量を知りたい。